

「イノベーション探究Ⅰ」～地域再発見プログラム～第16回

1. 実施日

令和4年10月20日（木）5・6限

2. 場所

多目的教室北南

3. 対象

グローバル科1年生（6・7組）

4. 講師

福知山公立大学地域経営学部 准教授 杉岡 秀紀 様

5. 内容

次の2つを目的として、杉岡先生に講演をしていただく。大学人が取り組む研究を学ぶことで、学問を究める尊さを知り、自身の探究姿勢に生かせるようになる。研究とは社会貢献に繋がるものであることを理解する。講演は「大学の研究と社会貢献—私の探究（研究）紹介—」をテーマとしてパラレルキャリアやプロボノ研究をキーワードにお話しいただいた。

6. 学び

学習者はシティズンシップ教育を話題とした様々な具体例から主権者教育について考えることになった。この話題は講演後半のテーマにつながっており、各個人が探究に取り組むにあたり、当事者意識と問う力の必要性を学んだ。

7. 次回への課題

探究の目的や、自分たちの探究のテーマを社会的背景に関連させたり、社会的な意義づけができていないチームが少なくない。今回の講演で学んだ“圧倒的な当事者意識”を持たせて、探究内容を意味づけできるように支援する必要がある。

8. 授業の振り返り

探究の意義や、本科目に取り組む態度、養いたい資質としてどのようなものが求められているか再確認できる内容であった。生徒の将来設計を含めたかなり内容の濃い講演であり、生徒たちは「人生＝探究」と認識させられたのではないかと思う。